

令和8年度 予算を公表します



財政課財政係 ☎(63)2151

鹿沼市の財政は、自主財源の根幹をなす市税の増収が見込まれますが、物価高騰等により、市の負担も増大するなど、厳しい状況が続いています。

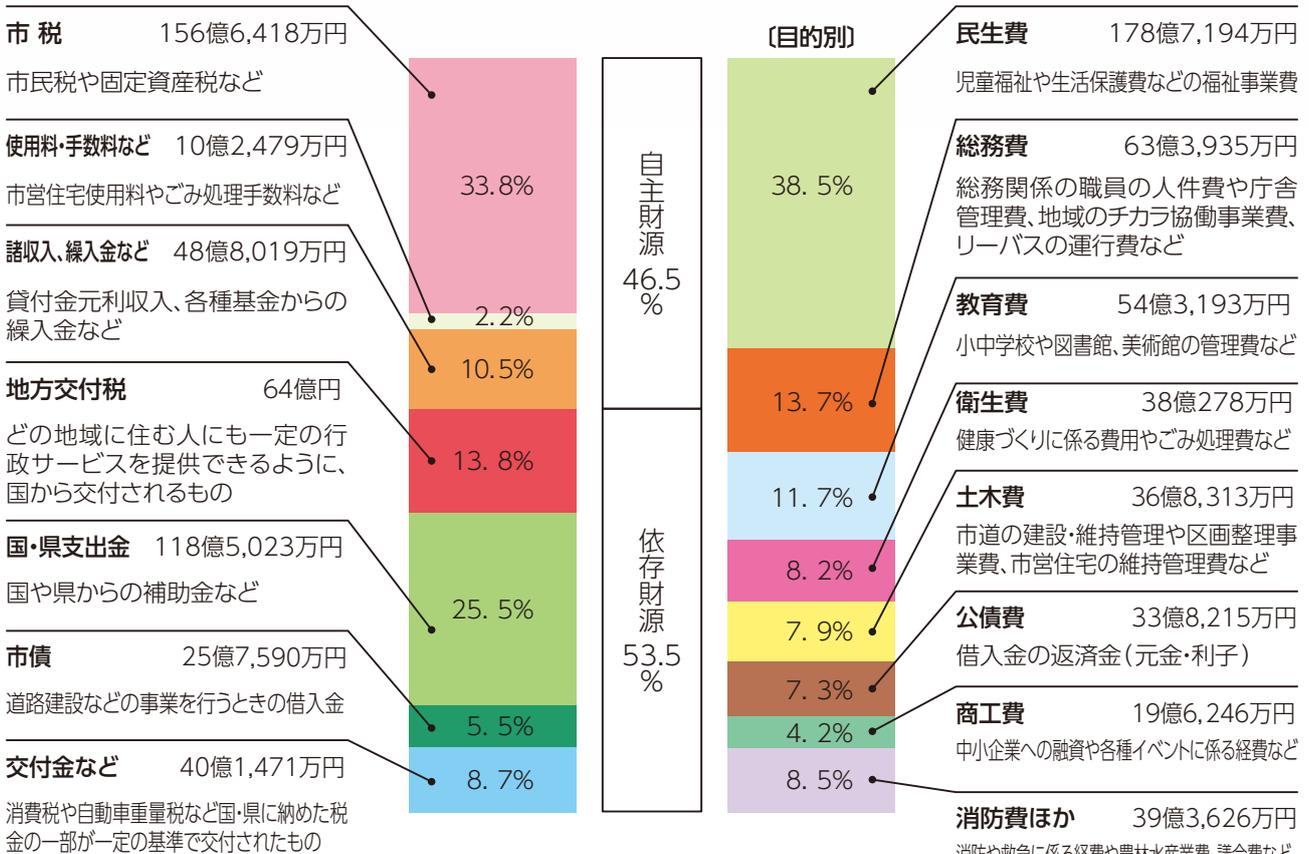
このような中で、令和8年度は、第9次鹿沼市総合計画がスタートし、計画に掲げた施策の着実な推進に向けて第一歩を踏み出す重要な年であることから、積極的な予算編成を進め、過去最大の予算規模となりました。総合計画が目指す、「豊かな自然と文化に つつまれ 人が輝き 地域が輝く みんなが住みたいまち」の具現化に向け、各種取り組みを着実に推進していきます。

令和8年度 一般会計の当初予算

歳入

予算規模 464億1,000万円(前年度比7.0%増)

歳出



水道・下水道事業会計の予算

水道・下水道事業会計は、上下水道管理運営のための会計で、独立採算制をとっています。

○水道事業会計

収支	収入	支出
収益的収支(維持管理)	16億151万円	16億131万円
資本的収支(設備投資)	5億4,563万円	16億8,302万円

○下水道事業会計

収支	収入	支出
収益的収支(維持管理)	24億5,034万円	24億3,556万円
資本的収支(設備投資)	7億7,882万円	16億1,679万円

特別会計の予算

特別会計は、特定の収入をもって特定の事業を行う会計で、一般の収入や支出と区別して個別に経理しています。

会計名	予算額
国民健康保険	94億5,700万円
公設地方卸売市場事業費	1,946万円
介護保険	87億2,100万円
後期高齢者医療	15億4,800万円
粕尾財産区	23万円
清洲財産区	101万円
合計	197億4,670万円

重点事業

令和8年度予算は、「市民の暮らしを守り、鹿沼の“みらい”を創造する予算」として、学校給食の無償化、物価高騰対策、子育て支援策の拡充や、教育環境の充実を図るとともに、安全安心な暮らしを守る道路の整備などを推進します。

☆学校給食の無償化 4億6,765万円

小中学校の学校給食を無償化し、保護者の経済的な負担を軽減

☆物価高騰対策 7億3,059万円

プレミアム付商品券の発行支援、「指定ごみ袋引換券」配布等

☆地域拠点西小学校等整備 1億1,987万円

西小学校の長寿命化工事と学童保育施設、東大芦コミュニティセンターの一体的整備に向けた設計業務

☆東京サテライトオフィスの開設 695万円

高輪ゲートウェイシティにサテライトオフィスを設置し、情報発信や都市交流の拡充、企業誘致、地元企業との交流や販路拡大等の促進

☆全てのこどもが安全・安心に成長できる環境づくり 7億605万円

妊娠・出産時の給付金に市独自の上乘せ給付、高校3年生相当年齢までのこども医療費助成等

☆公共交通の活用促進 2億7,936万円

「AI活用型オンデマンドバス」の導入に向けた準備を進め、利便性の高い公共交通を構築

☆花木センターの再整備 3億2,529万円

さつき祭りをはじめ様々な催しに対応できる新たなイベントスペースを整備

☆鹿沼の魅力創出 3億6,201万円

新卒者就職祝金や奨学金返還支援による移住・定住、就労の促進等、いちご市宣言10周年のPRの充実

☆防災・消防機能の充実 5億7,812万円

救助工作車および消防団車両更新、自主防災会支援、防災広場の整備等による地域防災力の強化

☆野生鳥獣対策 9,877万円

クマ被害防止対策として捕獲や警戒パトロールの強化、シカ・イノシシ等の捕獲報償金の交付等

☆鹿沼工業団地雨水排水対策事業 2億4,296万円

鹿沼工業団地内に雨水貯留管を整備、管路施設の調査・診断

☆道路整備 12億4,572万円

道路等の新設・改修、長寿命化対策、JR鹿沼駅自由通路整備に向けた基本設計

☆次期クリーンセンター整備 【債務負担行為※】3,500万円

次期クリーンセンターの整備を見据えた基本構想を策定するための基礎調査
※複数年度にわたる事業において、あらかじめ予算で後の年度の債務を定めておく制度です。

☆幼保連携型認定こども園の整備支援 3億9,673万円

入所児童の低年齢化のニーズに対応した施設整備

☆スポーツ施設整備 4億3,522万円

サンエコ自然の森サッカー場の人工芝更新とミスト散水栓などの設備の新設

☆健康都市かぬまの推進 4億4,068万円

胃内視鏡検診を新たに導入、予防接種の助成、意識啓発や健康教室の充実等



◀給食の様子



▲上空から見た西小学校



▲再整備後の花木センターイメージ図



▲サンエコ自然の森サッカー場